

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉を聞いたことがあると思います。これは夏の暑さも秋の彼岸の頃には和らぐという意味ですが、北海道においてはこれまで「暑さはお盆まで」が一般的で、私が子供の頃はお盆を過ぎるとストーブに火を付ける日もあったことを覚えています。

しかし近年では、地球温暖化の影響で、お盆を過ぎてもなかなか涼しくなりません。特に暑さが厳しかったおとしは、市内で最高気温が30度を超える「真夏日」は31日間もあり、そのうち12日はお盆を過ぎてからでした。20年前の真夏日の日はわずか4日しかなく、比較してみるといかに暑い日が増えたかお分かりいただけるのではないかと思います。

こうした夏の暑さに対応するため、市では昨年度から「クーリングシェルター」と呼ばれる暑さをしのぐための避難場所を設置しています。今年度は市庁舎や図書館などの公共施設に加えて、スーパーや郵便局にもご協力をいただく予定です。熱中症への警戒が必要な日に開放されるので、自宅や外出先で暑さを感じる場合は、無理をせず一時避難場所として利用してください。

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

夏の過ごし方

帯広市長 米沢 則寿



また、子どもたちが日中の大半を過ごす小・中学校と義務教育学校では、国への要望活動を行い、エアコンの整備を進めています。さらに、夏休み期間を延ばすなど、子どもたちの健康を守りつつ、学習に集中できる環境づくりに取り組んでいます。

一方で、本州から訪れる方々からは「夏になると毎日のように熱中症の警報が出る。屋外のイベントができなかったり、夜間になっても気温が30度以下にならない日が続くので体調管理が大変だ。北海道がうらやましい」との声を聞くことが多くあります。

十勝・帯広は、本州と比べて冷涼な気候を有する地域です。そして緑ヶ丘公園や帯広の森などの豊かな緑に恵まれ、日高山脈や大雪山系から清らかな水が流れています。緑や水は気温の上昇を抑える効果に加え、木立を抜けるそよ風や川のせせらぎなど、私たちの五感を和ませ清涼感をもたらしてくれます。

こうした地理的特性は、人々が快適に暮らせる空間として、この地域の価値をさらに高めていくのではないかと感じています。

皆さんも、昔と比べて少し長く、暑くなった十勝・帯広の夏の魅力を探しながら、元氣にお過ごしいただければと思います。

しのぐための避難場所を設置しています。今年度は市庁舎や図書館などの公共施設に加えて、スーパーや郵便局にもご協力をいただく予定です。熱中症への警戒が必要な日に開放されるので、自宅や外出先で暑さを感じる場合は、無理をせず一時避難場所として利用してください。



今月は キリン

令和4年6月に生まれたユメタは、身長（頭長高）が3メートルを超え、あっという間に母親であるユルリと同じくらいの体格になりました。でも、まだまだ父親のメープルの体格にはかないません。これから、さらに成長していく姿を見守ってください。

新キリン館は、観覧通路など屋外部分のご利用いただけます。屋内部分については、飼育キリンの状況を見ながら、後日供用開始します。



ユメタ

新キリン館の屋外観覧通路からは、キリンと同じ目線の高さから観察できますよ！



キリン担当
片桐職員



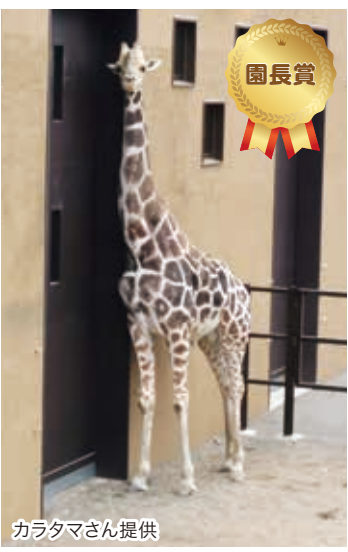
果糖さん提供



Snowさん提供



カラタマさん提供



園長賞

おびひろ動物園の動物たちの写真を大募集！

動物園長と広報担当で厳選し、魅力的な写真を当コーナーで紹介します。次回(10月号)の紹介予定の動物は「エゾリス」です！

応募方法 「#広報おびひろZOOレター」を付けて、Instagramに投稿するか、WEBフォームから応募してください。photo@city.obihiro.hokkaido.jpに画像（5MB以内）を添付して送ることもできます。



※提供された写真は、次回のZOOレターで紹介したり、市の広報物などに使用場合があります。その場合、個別にお知らせはしません。写真に関する問い合わせは、広報広聴課へ。



男女共同参画セミナー

「無意識のバイアスを乗り越えて～自分らしさの見つけ方～」

問い合わせ 市民活動課（市庁舎3階、☎65・4134）

いつの間にか「男だから」「女だから」こうあるべき」という思い込みにとらわれてしまっていないですか？

思い込みの多様性と、そこから解放されることの重要性を考えてみましょう。

講師 ジェーン・スー

日時 8月9日(土)、14時～15時30分

場所 とかちプラザ（西4南13）

定員 抽選320人

申し込み 7月1日(火)～17日(木)までに、WEBフォームから申し込み、または往復はがきに必要事項を記載して市民活動課（〒080・8670 西5条南7丁目1番地）へ。記載事項などは市ホームページで確認するか、お問い合わせください。



市ホームページID.1019941

みんなで健康づくり

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

市ホームページID.1004883

7月から8月は気温が上がるため、熱中症の危険が高まります。

●冷房や扇風機の使用、こまめな水分補給などにより、熱中症を予防しましょう。

●高齢者や子どもは特に注意が必要です。周囲の人も声をかけをしましょう。

●熱中症と思われる人を見かけたら 涼しい場所に移動させ、体を冷やし、水分補給をします。意識がはっきりしないときはすぐに救急車を呼びましょう。

●熱中症警戒アラートを活用しましょう 熱中症の危険を示す暑さ指数が33以上となった場合に、環境省から発表されます。発表された場合には、普段以上の予防行動が必要です。



環境省公式LINEアカウント▲

クーリングシェルターをご利用ください

問 環境課（市庁舎6階、☎65・4135）

熱中症警戒アラートなどが発表された日に、一部の公共施設やスーパーなどを開放します。暑さをしのぐ避難場所として気軽に利用してください。



利用できる施設など詳細はこちら▲